

キラット さん



太鼓で喜怒哀楽を表す

大館曲げわっぱ太鼓忍組

大沢 しのぶさん(小館町)

もつすぐやってくる大館神明社の祭典。大沢さん率いる忍組も10年以上前から参加しています。

忍組が祭典に初めて参加したとき、大館囃子のメロディとは異質の音とリズムに周囲が戸惑いました。曲げわっぱ太鼓は、いわばアウトサイダー的な存在だったと当時を振り返ります。大沢さんは、大館囃子の領分に踏み込んでいくのではなく、長い伝統を大切にしながら、そこに新しい伝統をつくるきっかけになればと考え、勇気を出して参加したそうです。

「だれでも叩けば音が出るけど、その音は叩くひと、そのときの気持ちによって千差万別。うれしい気分ときは音も自然と弾んでくるんです」と語る大沢さんの目指

す太鼓は「いやしの太鼓」。叩くことに没頭していると、目の前がサーッと開けてくることがあります。大沢さんにとっていやしのときは、楽しい、勇ましい音はだれでも出せませんが、微妙な間とパチさばきで、安らぎやしなやかさを表現するのは難しいと話します。また、太鼓に触れ合う機会があったときには「それぞれに地域独特の『色』が必ずありますから、そのチームの色を楽しんでください」と、太鼓鑑賞のポイントも語ってくれました。

「だれもが自由に太鼓で『自分の音』を楽しめる機会を作りたい」「そして体で自然に感じてほしい」。大沢さんの太鼓にかける夢は大きく広がります。

私の本棚

中央図書館だより

中央図書館 ☎42 - 2525

開館時間・9時30分～17時15分

9月の休館日・8日、15日、16日、23日、26日

9月のテーマ図書・『住まい』

大館親子読書会・6日(毎月第1金曜日)10時30分～

司書のおすすめ

『おばあちゃんが語る戦争の話』
関口 たつき著・文芸社



地域子どもたちに20年近くにわたって戦争体験を語り継いできた著者。「平和を守る心が少しでも芽生えるきっかけになれば...」という願いが込められた1冊。小学校高学年向けの本。

	図 書 名	著 者
新 着	絵本・子どもの本	赤木かん子
	パワーストーン幸運の辞典	森村あこ
	精神分析ってなんだろう?	山田由佳
	韓国ナマ中継	鈴木宙明
	いつだって愛してる	エマ・スウィーニー
	母の手を逃れて	ジョジアヌ・ペラン
	明治・大正・昭和仙台じけん帳	逸見英夫
	NGO主義でいこう	小野行雄
	子どもの結婚親の役割がわかる本	曾我千春
	自分で作るう手話ソング	田中ひろし
一 般 書	盲導犬ハンドブック	松井進
	有事法制か、平和憲法か	梅田正己
	気をつけよう! 毒草100種	中井将善
	夫も、更年期!?	宮西ナオ子
	こどもと囲む困らん食	服部幸應
	母乳で育てるコツ	山西みな子
	盆栽入門	群境介
	日曜大工でレンガワーク	藤岡等
	岡本太郎の東北	岡本太郎
	マイ・ライフ	綾戸智絵
新 着 児 童 書	なかよし「なぞなぞ」777連発	このみひかる
	3日で覚えるやさしい囲碁	依田紀基
	おにいちゃんは世界一	ウルフ・スタルク
	はるちゃん、ね	さいとうしのぶ
	ちゃんとたべなさい	ケス・グレイ
	ホワイト・グース	ターシャ・テューダー